

## ～高崎市立中央図書館のお知らせ～

### 第7号

2021（令和3）年7月28日発行

編集・発行：高崎市立中央図書館

〒370-0829 高崎市高松町 5-28

TEL 027-322-7919

FAX 027-324-3423

<http://lib.city.takasaki.gunma.jp/>



高崎市には中央図書館以外に5か所の地域図書館があります。加えて高崎駅市民サービスセンター、倉賀野公民館図書室の計8つの施設のシステムが連動していて、それぞれの施設の資料をそれぞれの場所で貸出返却、予約ができます。

今回はそれらの図書館の資料を利用できるようにする物流の仕事について紹介します。

利用者の皆さんが他の図書館から取り寄せを希望した予約資料や、所蔵している図書館以外で返却をした資料などは、トラックで回送され所定の図書館に届けられます。予約資料の受け取りのみが可能な公民館（中川、長野、大類、寺尾）を含めた市内の12か所の施設を週3回、一巡しています。

配送する資料（本、CD、DVD、ビデオなど）は大きさがばらばらなので、壊れないよう、なるべく職員が形を整えて専用のコンテナ（箱）に梱包し、所定の図書館や公民館に配送します。



朝9時頃、中央館から各図書館行きのコンテナが専用のトラックに積み込まれて出発します。各地域館、公民館でも同様にほかの図書館に送るコンテナを準備しており、行き先ごとに荷下ろし、荷受けがされます。施設を一巡し、中央館行きのコンテナを積んだトラックが戻って来たら、職員がコンテナの中身を仕分ける作業が始まります。

資料の種類、予約があるかないか、中央館を経由してほかの図書館に回送される資料かなどを目で見て仕分けします。

図書については大量の処理をするために専用の自動仕分け機を使います。仕分けが完了すると、所定の書架（本棚）に戻されます。



仕分け作業は館長をはじめその時参加できる職員が、一丸となって行います。



受け取りのみが可能な公民館図書室には、上記の4つの公民館に加えて倉賀野公民館図書室があります。最寄りの施設があれば、市立図書館の資料の利用にぜひご活用下さい。

（市立図書館では倉賀野公民館以外の公民館の本の返却はできません。また、公民館図書室は開館する曜日、利用可能な時間がそれぞれ異なるため、事前にご確認をお願いします。）

今年は中央図書館が新館として高松町に開館してから

10周年となる記念の年になります!!

そこで今回は、図書館や本にまつわる資料をご紹介します!!

## 一般書

No  
Image

### 『太宰治の辞書』

北村 薫 著  
新潮社

日常の謎解きミステリー「円紫さんと私」シリーズ。もちろんこの1冊だけでも楽しめます。編集者である「私」は太宰治が愛用した辞書を探し、群馬県立図書館にある辞書にたどりつきます。



## 児童書

No  
Image

### 『でんしゃとしゃかん』

深山 さくら 著  
はせがわ かこ 絵  
文研出版

東京都東村山市の公園の中にある「くめがわ電車図書館」。本や電車が大好きな子どもたちに大人気です。地元の人たちに支えられている様子が温かく、優しいタッチで描かれています。

## 図書館の歴史Q&A!!!

Q1.世界で一番古い図書館は？

A1.前 7 世紀のアッシリア帝国のアッシュールバニパル王の王宮図書館といわれています

Q2.古代最大の図書館は？

A2.エジプトのアレクサンドリア図書館  
最盛期には約 70 万巻の蔵書があり、詳細に目録が取られて整理もされていたそうです

Q3.日本で一番古い図書館は？

A3.奈良時代(8世紀末)、貴族の石上宅嗣(いそのかみやつぐ)が私邸内につくった「芸亭(うんてい)」と称する書齋が一般にも公開された図書館の始まりといわれています

Q4.公共図書館の始まりは？

A4.明治 5(1872)年、文部省が東京湯島の聖堂に作った「書籍館(しょじゃくかん)」で有料制で始めました

Q5.高崎の図書館の始まりは？

A5.明治天皇の行在所(あんざいしょ)として用意された「春露館(しゅんあいかん)」に明治 43(1910)年 9 月 26 日私立高崎図書館が開館したのが始まりです

もっと図書館について知りたい方は

『本と人の歴史事典』『図書及び図書館史』『日本図書館史概説』『本の世界のホントの話』『高崎市立図書館の歩み』読んでみてくださいね!

No  
Image

### 『戦場の秘密図書館』

シリアに残された希望』

マイク・トムソン 著 小国 綾子 編訳  
文溪堂

シリア内戦下の街ダラヤで希望を繋いだのは、若者たちが命をかけて地下に作った秘密図書館でした。彼らは「本は雨のようにすべての人に降り注ぎ知恵の花を咲かせる」と話します。

## 視聴覚資料

### DVD『天使のいる図書館』

【監督】ウエダ アツシ  
【脚本】狗飼 恭子  
【出演】小芝 風花

図書館の新人司書である主人公は、レファレンスサービスという慣れない仕事にとまどいながら過ごしていた。そんな中、ある老婦人と出会い、図書館利用者との関係を超えた特別な感情を抱きはじめる。人付き合いが苦手な主人公が人との交流を通して成長していく心温まるお話です。



### DVD『ニューヨーク公共図書館』

【監督、録音、編集、製作】フレデリック・ワイズマン

世界最大級の〈知の殿堂〉ニューヨーク公共図書館の知られざる舞台裏を描いた傑作ドキュメンタリー。文学、芸術などの分野で多くの人材を育て、NY市民の生活に密着した図書館の活動は、きっと皆さんの固定観念を打ち壊します。図書館の持っている様々な可能性を見せてくれる作品です



## 郷土資料

No  
Image

### 『ようこそ絵本の世界へ』

寺澤 敬子 著  
上毛新聞社事業局出版部

中央図書館で月に一度「絵本の読書相談」の相談員として、子どもと絵本に関する様々な相談にアドバイスをしていただいている寺澤敬子先生の書かれた本です。

寺澤先生の優しい語り口そのままに、最近出版されたものから、昔から読まれている良書までたくさんの絵本・児童書が紹介されています。



写真でみる

# 高崎今昔



著・高崎市立中央図書館長

## 第2回 懐かしの高崎駅構内

前回は高崎駅東口の変遷をお話ししましたが、今回は駅構内の懐かしい写真を紹介しましょう。

一枚目の写真は西口の切符売り場で、自動販売ではなく窓口で乗車券や急行券などを購入していた頃のものです。

切符を買くと二枚目の写真の改札口で切符にハサミを入れていただいてホームに出ます。今のように Suica やスマホを機械にかざしてなんて当時は思いもつかないことでしたし、改札口と出口は別でした。



① 切符売り場 昭和43年3月20日撮影



② 改札口 昭和38年7月14日撮影

さて、入場したところが三枚目の写真の1番線ホームで、ホーム脇には土産物屋や売店、立ち食い蕎麦の店などが並んでいました。奥に見える跨線橋を渡って1番線から8番線までホームがありました。また、上信電鉄の発着場所は1番線ホームの跨線橋の先で場所は今も変わっていませんが、この頃は9番線という表示でした。1968(昭和43)年からは0番線に変わり、「ゼロ番線上信電車の発車ベル」と高崎かるたに詠まれています。

1番線からは夜行列車も出ていて、昭和40年代の登山ブームの頃は多くの登山者が「急行越前」

などに乗って、黒部や富山から立山連峰などを目指してゆきました。金沢などを旅した折に、この列車に乗り合わせ、通路まで新聞紙を敷いて寝転んでいる人たちに驚き、明け方まで客車のデッキで過ごして、登山客が降りていった富山あたりでやっと座れたという記憶があります。

最後の写真は、駅弁やアイスクリームなどの立ち売りの模様です。



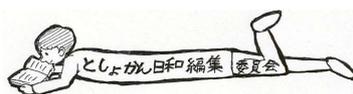
③ 高崎駅開業90周年の飾りつけ 昭和49年6月23日撮影

客車の窓が開いて、そこから弁当などを購入しています。旅といえば駅弁、陶器製の入れもののお茶、冷凍ミカンなどが当時の旅のお供でした。

私が中学から高校の頃は、信越線に乗って中軽井沢のスケートセンターまで毎冬行ったものです。当時は、400メートルの公式リンクや、屋根付きの周回リンク、インドアリンクがある大きなスケート場で、世界選手権なども行われましたが、2009(平成21)年に閉鎖され、今は風越公園内に新たな施設が出来ています。いつも帰りの横川駅で「峠の釜めし」を買って、食べ終わる頃には高崎に到着といった記憶があります。皆さんは、駅にどんな思い出があるでしょうか。「東口の変遷」、「駅構内」と続きましたので、今回は「西口の変遷」についてご案内できればと思います。



④ ホームでの立ち売り風景 昭和45年4月6日撮影



中央図書館 開館時間

火曜～金曜 10時～20時

土日祝日・月曜 10時～17時

※写真は全て原田雅純氏撮影 高崎市立中央図書館所蔵